



令和7年7月18日発行

校長 鈴木 和彦

横尾中学校 学校だより

校訓「自立」<学校スローガン:「Challenge」～I can do it.～>

【夏季休業期間の熱中症防止対策】

今年は梅雨明けが早くなり、暑い日が続いています。そのような中で夏季休業期間中の部活動での事故リスクが高まることを危惧しています。

そこで、以下の対策・対応をしますのでお知らせします。

- 1 部活動は午前中に行う。ただし、部活動指導員や課外クラブサポーターの指導が午前中にはできない場合はその限りではない。
- 2 部活動を行う際は顧問教員や部活動指導員・課外クラブサポーターのいずれかが必ずつく。どうしてもつくことができない場合は保護者がつく。
部によっては、保護者が当番しているところもある。
- 3 各自で水筒を持参する。スポーツドリンクも可。
- 4 A棟 1階配膳室前の廊下に備え付けの冷蔵庫に部ごとに各自の水筒や飲み物（ペットボトル）を入れられるようにする。
- 5 各部の顧問教員が常備している熱中症指数の計測器や各活動場所備え付けの計測器で熱中症指数が31を超え、気温が35度以上の場合は原則活動を中止する。
熱中症指数28～31で気温31～35度の場合には、激しい運動をせず、10～20分間隔で休憩・給水をとる。休憩は日陰で過ごし、しっかり給水する。各部で塩分補給用のタブレットとスポーツドリンクを準備する。保健室にOS1がある。
- 6 部活動終了後に図書室でクールダウンしてから下校する。クールダウンは30分～1時間程度。（平日のみ）
- 7 直射日光にあたる部活動（サッカー、ソフトテニス、陸上、駅伝）は帽子を着用して活動する。
- 8 学校にある製氷機でつくった氷を各部に分配する。
- 9 AEDは武道場入口に備え付けてあるので、緊急な時には対応する。
- 10 万が一、熱中症等で意識がない場合（意識があってもひどい場合）は保護者に連絡すると同時に救急車を呼ぶ。